

第14回 九州国語教育学会 福岡大会

日時 2026年9月6日(日曜日) 受付 9:15 研究発表 09:30～17:15
会場 西南学院大学 2号館4階404教室
福岡県福岡市早良区西新6丁目2-92 (福岡市営地下鉄西新駅より徒歩5分)
参加費 研究発表のみの参加は無料 懇親会参加費は5000円程度(予定)

09:25-開会挨拶

09:30-11:00(3)

1 重岡 千真(福岡教育大学教職大学院)

大村はま「傍注テキスト」の考察―活用事例を通して―

2 赤木 満帆(宮崎市立生目中学校)

中学校第1学年国語科の説明的文章における考えの形成に関する研究―考えの比較・検討を促す手立てに着目して―

3 秦 恭子(日本学術振興会 九州大学大学院人間環境学研究院)

"和語にみられる語頭音の発声運動と事象の体感的一致に関する調査構想
―「身体知としての言葉」を育む語彙学習の開発に向けて―"

11:10-12:40(3)

4 前田 大智(佐賀大学教職大学院)

中学校国語科における目標提示のあり方に関する研究
―目標の二重性と仕掛学の視点をもとに―

5 植松 悠斗(佐賀大学教職大学院)

高校における古典の学習指導に関する一考察
―翻案活動に着目して―

6 池田匡史・香西真帆・流尾友子・宮本浩治

(岡山大学・岡山大学大学院教育学研究科院生・岡山大学大学院教育学研究科院生・岡山大学)
台湾初等国語教育における統合的なカリキュラムへの志向

12:40-14:00(昼休み)

14:00-15:30(3)

7 向本 翔馬(福岡教育大学教職大学院)

ミステリ教材の可能性
―読みのプロセスの顕在化を促す読解活動―

8 吉田 浩一（九州女子短期大学）
中学校国語・福田まさるの俳句教育

9 竜田徹 楠原 克浩（佐賀大学 佐賀市立新栄小学校）
木村裕一「風切るつばさ」の教材価値の探究
ー小学6年生の書き換え学習を手がかりにー

15:45-17:15(3)

10 出雲 俊江（広島女学院大学）
高等女学校「読本」にみる短歌学習の位相

11 渡辺 春美（高知大学名誉教授）
戦後漢文教育論の展開ー鎌田正の場合ー

12 前田 眞澄（福岡教育大学名誉教授）
シュミーターの作文カリキュラム論への進展
ーヘルバルト教育学の心理学的基礎づけを手がかりにー

17:15-17:30 会務協議

18:00- 懇親会（場所未定）